



ご挨拶 ～支え合い心ひとつに～

スペシャルオリンピックス日本・岩手

会長 平野 ユキ子

昨年、岩手は『SON・岩手』となり、正式に地区組織に昇格することができました。

そして今年の1月には、昨年の認証式典の時に招聘しました「ノブタク」に再び来ていただき、設立一周年記念コンサートを開催しましたところ、大きな反響があり大成功裏に終了することができました。

そして、この勢いで今年は『SON・岩手』はNPOになります。お蔭様で年度内の3月中旬に申請し、受理されましたので5月には「特定非営利活動法人 スペシャルオリンピックス日本・岩手」と認定される予定です。正式に法人となる事で、「SON・岩手」は社会参画がやり易くなります。これらは本当に皆様のお蔭と、改めて心から感謝いたします。

今、私たちは岩手大学と話し合いをして、連携を取る事を模索しております。NPOになることでこのような連携がとりやすくなるのです。手始めに今年2月に開催された新潟でのナショナルゲーム参加の際に駐車場をお借りすることができました。これからもっと話し合ってお互いに発展的な関係となり連携を取っていこうと思います。本当に感謝です。

また、今年は新会員入会を進め、会員数増加に力を入れて組織強化を図らなければと思っています。会員も増やさなければなりません。コーチも増やさなければなりません。これらは同時進行していくことで初めて成就します。新しく入ってくる方たちを歓迎して「SON・岩手」を暖かな素晴らしい会にしたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

さて昨年、「SON・岩手」は「SON・山梨」の方たちから山梨県の清里で行われる「フィールドバレー」の公演（白鳥の湖）に招待されました。なんと山梨の方たちは、岩手のみならず宮城・福島と被災3県の方たちを招待したのです。自分たちの運営だけでも大変なのに、人の為にこんなにするとはすごいと思います。これは見習うべきだと私は思うのです。私たちも他のSOの為に何かしてあげられる組織になりましょう。

先ごろ、熊本（九州）で大地震が発生致しました。東日本大震災の時に全国から頂いた支援を考え、このようなときに他地区のSOに関わり支援しあえる関係づくりをしていきたいと思っています。今後「SON・熊本（九州）」へは岩手として何らかの支援を考えていますのでよろしくお願い致します。また、こういう関係づくりの一環として、手初めに山梨のSOの方たちをお返しに岩手に招待することも考えています。具体的には、来年の「さんさ踊り」にご招待したいなあと思っています。

このように受けた親切をこちらからもお返ししたり、こちらから進んで何かしてあげたら、喜びはきっともっと大きなものになります。本当に素敵だと思いませんか？一地区だけではなく、東北全体と、そして日本全体につながり、SOの心が一致して一緒になって連携できたら、なんと素敵なことでしょう！

これから私たちみんな協力して、私たちの『NPO スペシャルオリンピックス日本・岩手』を、もっともっと素晴らしい会にしていきたいましよう…！！



東北電力鉄塔のライトアップとSON・岩手
（記事は5ページに掲載）

2016年度 SON・岩手 総会



2016年度総会は3月5日（土）13時よりふれあいランドにて行われました。また、併せてSON・岩手の特定非営利活動法人（NPO法人）化に向けての設立総会が開催されました。

総会終了後には、「2016冬季ナショナルゲーム・新潟大会」「2015夏季ワールドゲーム・LA大会」「設立1周年記念チャリティーコンサート」の報告会、そして「フロアホッケー（冬季プログラム）」の説明が行われました。内容盛りだくさんの一日でした。



2月12日(金)～14日(日) 開会式：朱鷺メッセ 競技：五日町スキー場

『冬季ナショナルゲーム・新潟』を終えて

＜岩手選手団団長 阿部 均＞

私自身、2回目の参加でした。大会前のプログラムは、雪不足（ゲレンデの一部にブッシュが出ていたり、ポール練習したいと思ってポール設置ができないなど）で納得のいくものではありませんでしたが、アスリート・コーチ・ファミリーの皆さんの協力により、心配は解消されました。

最悪のコンディション（2日目は雨天）にも関わらずボランティアの方々の献身的支援とアスリートの皆さんの頑張りで最高のかたちで大会を終えることができました。

最後になりましたが、皆様のご支援により選手団全員無事大会から帰宅したことを報告させていただきます。応援ありがとうございました。

アルペン	田村 将樹	中級ジャイアントスラローム＜2位＞
アルペン	千葉 美夏	初級ジャイアントスラローム＜3位＞
スノーボード	菊池 皓瑛	スーパースライド ＜1位＞
スノーシューイング	阿部 廉	100m ＜4位＞
スノーシューイング	丸田 隼	1,600m ＜2位＞
スノーシューイング	住吉谷 穂佳	100m ＜2位＞

頑張ったアスリートの感想

田村 将樹（アルペン 中級GSL）

雨の中、銀メダルをとれて良かったです。あちこちでめいしこうかんして、楽しかったです。ロッジ半二郎のごはんが美味しかったヨ。がんばりました。僕はアルペン中級ジャイアントスラロームに参加しました。13日の予選は、スタート17番でした。

千葉 美夏（アルペン 初級GSL）

冬の大会に初めて参加しました。アルペンスキーの初級に出ました。緊張してドキドキしました。本番の時、雨が降って寒くて大変でしたが、転ばないで滑りゴールできて良かったです。銅メダルをもらって、とても嬉しかったです。

菊池 皓瑛（スノーボード スーパースライド）

2月12日から14日まで、冬季ナショナルゲーム・新潟に行ってきました。ぼくは、スノーボードスーパースライドに出ました。さいごまでころばないでゴールできました。うれしかったです。

阿部 廉（スノーシューイング 100m）

ぼくは、新潟大会のスノーシューイング、100mに参加しました。コーチの話を聞き、さいごまでがんばって走りました。大会は、みんなといっしょでたのしかったです。

丸田 隼（スノーシューイング 1600m）

新潟大会では、スノーシューの1600メートルにでました。つかれたけど、さいごまで走りました。がんばりました。

住吉谷 穂佳（スノーシューイング 100m）

楽しかったです。開会式で入場しました。ねぎっことミーシャに合いました。スノーシューイングで走るのを頑張りました。お天気が雨でした。スタート練習をたくさんやったのでかっよかったです。メダルもらって嬉しいです。



田村 将樹



菊池 皓瑛



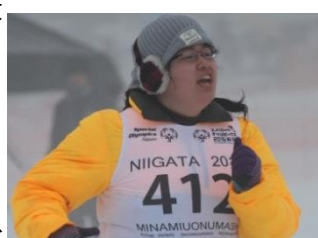
丸田 隼



千葉 美夏



阿部 廉



住吉谷 穂佳



開会式前 選手団待機場所にて ワクワ



岩手選手団 緊張と笑顔の入場

ヘッドコーチの感想

阿部 真喜子 (アルペンスキー ヘッドコーチ)

今回はアルペンスキーのコーチとして参加させて頂きました。とても忘れることの出来ない大会となりました。練習の時から、例年にない雪不足に始まり、大会最終日の決勝は雨の中で行われ、コースは土が出ていて滑らなかったり、ウエアは雨に濡れ防水が効かなくなり、ずぶ濡れ状態での競技、表彰式となりましたが、アスリートは悪天候に関わらず、それぞれ持っている力を十分発揮し頑張ったと思います。大会に関わって下さった皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

岩脇 賢太 (スノーボード ヘッドコーチ)

今大会は、岩手での練習の時から雪不足に見舞われるなど天候との戦いといった感じで、選手はモチベーションの上げ方を苦労したのではないかと思います。しかし、競技が始まれば集中し、雨中になった最終日はそれぞれ力を出し切り、涙雨を降らせてくれたその姿に拍手を送りたいと思います。今大会に向けて協力していただいた関係者の方々に改めて御礼を申し上げますと共に、選手には経験を自信にかえて、今後の活動にいかして欲しいです。

松館 暁敦 (スノーシューイング ヘッドコーチ)

山形のナショナルゲームに続き2回目の冬のナショナルゲームでのコーチとして参加しました。SOの活動自体が久しぶりでしたが、競技は勿論、その他でもアスリートの成長を感じる事が出来ました。決勝当日は、雨の降る中、またスノーシューイングはコースコンディションも決して良いと言える状態では無い中それぞれがベストを尽くしたと思います。アスリートの皆さん、ファミリーの皆さん大変お疲れ様でした。



ファミリー応援団(♡)ありがとう



お世話になったロッジ半二郎にて

岩手応援フラッグを頂きました
南魚沼市立上関小学校の皆様
ありがとうございました

岩手選手団 壮行会



2月6日(日) 11時~ふれあいランド研修室で冬季ナショナルゲーム・新潟大会の岩手選手団壮行式が行われました。約30名の参加者でした。選手団は一人ずつ決意を發表し、平野会長からは「練習の成果を發揮し、楽しんで来て下さい。」とエールがありました。

岩手のみなさん。
せいいっぱいがんばってください。
岩手で応援しています。
岩瀬 弘暉さん



冬季NG・新潟 報告会

3月5日(土) ふれあいランドのふれあいホールで冬季ナショナルゲーム・新潟大会の報告会が行われました。(同日行われた総会に引き続いて行われました。)アスリートは大会で頂いたメダルやリボンを首から提げ、晴れやかな顔で並びました。スライドで開会式の様子やアスリートの姿を映し出しました。参加した選手団一人一人が頑張ってきた事や楽しかった思い出を報告し、応援頂いた皆様に感謝の意を伝えました。



ファミリー交流会(盛岡)

平成27年12月6日ふれあいランド岩手・ふれあいホールでファミリー交流会を開催しました。42名の参加者で楽しく体を動かして交流しました。フライングディスクアキュラシーは参加者全員で得点を競いました。ステージや会場全体を使ってアスリートが大好きなダンスでも沢山踊りました。アスリートはもちろん、ファミリーの皆さんも額に汗をかきながら、楽しい一日となりました。午後は美味しいお弁当をみんなで食べ、親睦を深めました。みかんを使ったビンゴゲームでは、みんな楽しい景品をGETしました。沢山の笑顔があふれました。 <ファミリー委員長 佐々木 さやか>



アスリートの感想

ファミリー交流会に行きました。ゲーム大会は、フライングディスクでした。ダンスはちびまる子ちゃんとニンジャーをおどりました。お弁当を食べました。美味しかったです。ビンゴ大会は、しずかちゃんのバブをもらいました。うれしかったです。

<盛岡ランチ 藤井 春佳>



アスリートとファミリーの皆さんがどのような感じで活動なさっているのかなと思い、初めてファミリー交流会に参加させていただきました。輪投げゲームとダンスと昼食会のファミリー交流会、運営のお手伝いちょこっとだけで後は一緒に体を動かし、沢山ごちそうになって申し訳ないくらい楽しませていただきました。

アスリートの皆さんは進行のルールをきちんと守ってゲームに参加しており、日頃のスポーツプログラムの成果を感じました。また、ファミリーの方々の行動力とチームワークのよさも見事だなと思いました。皆さん楽しく参加しているのが何よりで、SON・岩手が活動内容を充実させながら長く継続している訳がよく分かりました。今年も楽しみです。 <事務局次長 高橋 友三>



設立1周年記念チャリティーコンサート「音楽がくれた希望」

ノブタク



ノブ：本間惟彦さん
(ピアノ：本間桃子さん)

タク：小柳拓人さん
お話・歌：小柳真由美さん)



チャリティーボロシャツの頒布

「ノブタクコンサート」が1月8日(金) 13:30~プラザおでつて3Fのおでつてホールにて開催されました。

昨年「SON・岩手」が地区組織として設立され、お陰様で一周年を迎えることが出来ました。皆様への感謝の気持ちを込めてなにかしたいと思った時、設立式典の際の「ノブタク」演奏の素晴らしさと感激・感動が忘れられず、迷うことなくお二人のコンサートを開催しようとなりました。

当日はおでつてホールいっぱいの観客が訪れ座席が足りず、通路にイスを出して対応するほどでした。「音楽がくれた希望」のテーマのとおり、演奏はもちろん、お二人をここまで導き立派な社会人になされたお母様たちのお話も本当に素晴らしく、会場が温かい気持ちと感動と希望でいっぱいになり、拍手が鳴り止みませんでした。素晴らしい演奏会をありがとうございました。さらに来場の皆様他多くの方の暖かな気持ちと沢山のご芳志を頂き、心から感謝申し上げます。



冬季プログラムの様子

『冬季プログラムの状況について』

冬季プログラム（アルペンスキー、スノーボード、スノーシューイング） アスリート9名、下倉スキー場を中心に5回実施をしたところです。

ヘッドコーチの方々には練習日誌に練習内容等記録して貰い、次のプログラムに活かしていく方法を執らせていただきました。アスリートの課題等把握できたものと思います。プログラム開始はコーチミーティングから始まるわけです。ただナショナルゲームを意識したプログラムになってしまったことは反省するところです。

アルペンスキーは意識的にポール練習（ストックで代用）後は急斜面の克服を課題に滑ってもらいました。これを実施すると大概のゲレンデには対応できるものかと思い、滑走してもらいました。

アルペンスキーは事故と紙一重です。皆様の中でボランティアをお願いできる方を探しています。アスリート1名に対しスタッフ1名活動したいと思っています。

＜アルペンスキー ヘッドコーチ 阿部均＞



「世界自閉症啓発デー」に東北電力鉄塔がブルーに..

東北電力鉄塔のライトアップは、田口絢子副会長から「『世界自閉症啓発デー』には東京タワーがブルーにライトアップされる。盛岡でも東北電力鉄塔のライトアップをお願いしたらどうか…!？」という提案があり、実現したものです。

東北電力さんには昨年の認証式典にご案内申し上げ、サポーターになって頂くという関係を築いてまいりましたので、早速お願いに行きました。「世界自閉症啓発デー」から一週間が日本では「発達障害啓発週間」と定められていることを受けて、東北電力さんの御厚意で、4月2日から8日までの一週間、盛岡のランドマーク的鉄塔が18時～22時まで、優しいブルーにライトアップされることになりました。ありがとうございました。

岩手県自閉症協会が、やはり東北電力にライトアップのお願いを出していることがわかり、また自閉症協会がブルーのキャンドルを点灯するイベントを企画していることもわかったので、別々にするより連携したかたちで「SON・岩手」が自閉症協会の活動を応援する!ーと言うかたちをとる事にしました。アスリート・ファミリーにも声をかけ、当日集まって貰うことになりました。

イベント会場は「おでつて」の野外階段広場で18時～19時の間に階段上に自閉症協会のイベントとして100個のブルーのキャンドルライトが夢灯りのように点灯されました。そしてバックには鉄塔のブルーライトアップも見えました。

「SON・岩手は、世界自閉症啓発デーのイベントを応援します!!」というマスコミ向けのチラシを作製してマスコミ各社を回り、「世界中でこの日灯る、ブルーの優しい光が今年から盛岡の街を包みます。是非ご覧ください。」と、取材のお願いをしました。岩手日報、盛岡タイムス、朝日新聞、読売新聞、IBC、めんこいTV、FM岩手、……。各社来てくださり取材して下さいました。IBCはテレビでの当日の放送のほか、ラジオが前日の事前告知放送をして下さいました。FMラジオも前日の事前告知でした。めんこいTVはニュース放映後、このDVDを事務所に届けて下さいました! みなさま、当日のニュースのDVDが事務所にありますから、見ていない方は御覧下さい。

今回、岩手県自閉症協会さんとこのような形で連携が取れたことはとても良かったと思います。これからも、個々に活動するより連携できるところは一緒に行動していく方がお互いに助け合えると実感しました。これから他の団体ともこのような連携を深めてまいりましょう。

また、「SON・岩手」としての撮影会も後日、開催しました。4月8日の18時半に、場所は県民会館側の中津河原で、鉄塔を見上げる形で最高のスポットでした。小雨でもみんな元気でしたし、お蔭様で良い写真が撮れました。(表紙写真) 田口副会長と岩手フジカラーさん、本当に有難うございます。 <SON・岩手会長 平野ユキ子>



岩手県自閉症協会会長 熊本葉一様

心を豊かにする支援活動

2015「新しい東北を考える意見交換会」―北翔会―



講演するSON三井嬉子会長



東北6県のSONの代表が壇上に上がりそれぞれご挨拶をしました。

昨年4月に挙行された「SON・岩手」の認証式典・祝賀会に、私はある営業所の所長をご案内しました。それはその企業からご支援を戴きたく、認証式典はSONの活動をわかってもらう良い機会と思ったからです。一他にもいわて生協の理事長、東北電力の支店長と労働組合の委員長などご理解頂きたい企業の方々やSONの活動を知っておいて戴きたい方々として関係団体や行政の方々、マスコミや経済界、医学界などの方々にもお声がけをして来て頂いています。来てくださった方々はSONについての理解を深めたと思います。

さて、その所長は認証式典・祝賀会の後、仙台の「北翔会」という任意団体に「SON・岩手」を紹介して下さいました。私は5月、6月と打ち合わせの後、仙台まで出かけていき、北翔会の幹事会の皆様の前でSONについて講演をして理解と支援を求めたところ、その場で「SON支援」の動議が出され、何と「東北6県のSONを支援する」という決議がなされたのです。（作年は東北6県の各SONに10万円ずつ寄付されました）私は、現在こうした経緯から北翔会の東北6県SON担当者として連絡を取る役目をしています。

「北翔会」とは、東北各界の有志の方々が集まり、東日本大震災からの東北経済復興を主軸に活動をしている会です。現在は東北の経済発展のために「放射光施設の東北への誘致活動」を行っています。放射光施設は、東北6県の各機関・団体がILC誘致運動のように一丸となって東北への誘致を働きかけている施設ですが、「北翔会」はこの誘致運動に最も力を発揮している団体の一つです。

さて、昨年初めごろから「北翔会」は、東日本大震災後の人心の荒廃を憂い、経済活動のみならず『人の心を豊かにする』活動を何か支援したいと模索していました。そこへ私が話を持ち掛けたので、とんとん拍子に話が決まったのでした。私は「北翔会」の支援を得るため、上記のように仙台の「北翔会」の会合に出たり、「北翔会」の指導のもと東京の国会に陳情にでかけたりしました。それがこのような素晴らしい展開となり嬉しさとともに、「北翔会」に対して多大なる感謝を感じています。そして『東北6県のSONを支援する』という「北翔会」の素晴らしい考え方に賛同し、岩手のみならず東北が一体となって大きく前進するという希望を感じました。

そしていよいよ「北翔会」の平成27年度の最終的な大集会在12月9日、「新しい東北を考える意見交換会」と題して仙台江陽グランドホテルで行われました。招聘されたのは、国会議員や宮城県議会議員、東北6県の大学の学長と関係機関、そしてSONから三井会長と私。さらに岩手を始めとする東北6県のSONの代表者が二人ずつ来賓として招待されました。「SON・岩手」からは、私は北翔会担当者ですので、代表として住吉谷広報委員長と佐々木さやかファミリー委員長の2名が出席しました。

会合は、講演会で始まりました。初めに、国会議員による講話、次が東北大学教授の「東北放射光施設と東北経済の未来」、そして三井会長の「SOと私」と題する講演…これはひときわ素晴らしい講演でした。これら各講演会を経て、みなさまへの理解を深めたところで会場を移し、国会議員団への陳情（放射光施設誘致とSONへの理解と支援）が行われました。

ここまでは、代表者のみの会合でしたが、会場が更に変わって大広間に移り懇親パーティーとなりました。これには北翔会の他の会員も参加して、500人ほどの大晩さん会となり盛り上がりしました。パーティー会場では改めてSONの東北6県の代表者の紹介などがあり、皆でおいしいお料理を囲み、おいに楽しく懇談し親睦を深めました。

これから東北のSONの未来の明るい展望への期待と希望を感じる、そんな素晴らしい会合でした。

<SON・岩手会長 平野ユキ子>



SON三井会長からの挨拶



SON・岩手平野会長からの挨拶



親睦を深めました

事務局・各委員会より

今年度から全会員の皆様にいずれかの委員会に所属していただくことになりました。会の運営にご協力お願いいたします。

スポーツプログラム委員会から

スポーツプログラム委員会（SP委員会）は、SON・岩手のアスリート達がいきいきと安全にスポーツに取り組めるような環境を整え、プログラム全般が円滑に実施できるように調整をしています。

各プログラムの実施に必要な認定コーチについてもSP委員会で取りまとめをしています。今年は2012年・2013年までに登録した認定コーチは更新が必要になります。後日ご案内しますので更新の申請をお願いします。それから、SON・岩手地区大会（競技会）の計画やナショナルゲーム、北海道・東北ブロック大会へ向けての準備も行っています。今年は希望郷いわて大会が行われるためSON・岩手地区大会は行いませんが、ボウリング競技会を行います。

11月6日（日）には、仙台で北海道・東北ブロック大会として陸上とバスケットボールの競技が行われます。アスリートの競技会参加についてもアスリートが力を発揮できるようにサポートしていきたいと思います。関係の皆様のご協力をお願いします。

＜SP委員長 岩淵 昌文＞

ファミリー委員会から

ファミリー委員会は、アスリートがプログラムを通じて自立していくことを手助けします。またファミリーの交流を通じて親睦を深めると同時に参加意識の向上を図ります。

具体的な活動としては、コーチやボランティアの方々に感謝の意を表すサンキューパーティーの開催や、各プログラムの親子が参加して行うファミリー交流会を開催します。

そして、競技会や様々な行事・イベントのお手伝いをします。SON・岩手のみんなの笑顔と一緒に活動します。よろしくお願いいたします。

＜ファミリー委員長 佐々木 さやか＞

ボランティア委員会から

ボランティア委員会の活動としては、現在、年1回のアスリート達の競技会（他にも競技会はありませんが、主に水泳、ボーリング）の運営（アスリートの誘導補助）に携わり、そのボランティアに携わる方々の依頼（専門学校、大学）募集を行っています。

今後は毎月のアスリートの練習に際してコーチを補助できるようなボランティアの方々の検討が課題と思っております。

＜ボランティア委員長 吉田 光男＞

財務委員会から

財務委員会は、SON岩手の活動の活発化を図るため、正会員及び賛助会員の確保・増員、チャリティイベントの開催、ポロシャツの頒布促進等の活動を行います。

委員会構成は、現在のところ会長、副会長そして運営委員の方が兼務で活動してきました。ファミリーの方、特に気仙地区の方の参加を期待しております。

＜財務委員長 舘澤 徳平＞



（サイズ：S～XLまで）

SON・岩手のポロシャツが出来ました。サックスブルーと黒の2色があります。このポロシャツは頒布しておりますので、ご希望の方は事務局までお問い合わせください。

広報委員会から

広報委員会は、広報活動の推進とSON・岩手の関わる人々の円滑なコミュニケーションをサポートしていくことを目的に活動していきます。具体的には年2回ニュースレター「スマイル」の発行をします。競技会や行事・イベントでのアスリート・ファミリーの笑顔を写真に納めたり、感動や喜びをみんなと共有し伝えられるよう頑張ります。皆様のご協力よろしくお願い致します。

＜広報委員長 住吉谷 文子＞

事務局から

★新しいスタッフ（事務局員）を紹介します。★



たてした まさかず
＜ 達下 雅一＞

1947年、奥州市江刺区生まれ。岩手日報社に入社して盛岡市民になりました。昨年、SON・岩手のボランティア活動に初参加し、アスリートの方々の生き生きとした活動に胸を打たれて今春から事務局員としてスタートを切ったところです。SON・岩手が持つ明るさをたくさん学んでいきます。よろしくお願いいたします。

月・水・金曜日 10:00～15:00 在局

★気仙ランチ事務局担当のお二人の紹介★

＊今年から、気仙ランチの事務局になった菅野です。息子が8才の頃から参加していましたが、今まではお世話になってばかりでした。

これからは、みなさんの活動のお手伝いができればと思います。ご協力よろしくお願いいたします。＜菅野 里砂＞

＊今年度気仙ランチ事務局を努めさせていただくことになりました志田です。現在盛岡の方々にお世話になりながら、進めているところでございます。不慣れな部分がたくさんありますが、みなさんに協力をいただきながら世話役を頑張りますので、よろしくお願いいたします。

＜志田 広子＞

陸上プログラムのコーチクリニックを実施予定

開催予定日・・・6月中旬

場所・・・・・・ふれあいランド、他交渉中

日程・・・・・・10:00～(午前)→ GOA

(午後)→ 座学、実技

★多くのコーチ・ファミリーの皆様、GOA参加をお願いします。もちろんこれからSOの活動に参加希望の方、興味をお持ちの方もどうぞ参加ください。

★2016年度SON・岩手認定コーチミーティングの実施について

陸上コーチクリニックと同日に開催予定しています。

「認定コーチ資格 更新手続きについて」の説明など、今後のプログラム活動のお話をします。よろしくお願い致します。

* GOA・・・ゼネラルオリエンテーション・アスリート理解

水泳プログラム・総合プール

*1 活動予定

* 2016年(4月以降日程)

4月・・・9日、23日

5月・・・7日

6月・・・18日

10月・・・1日、8日、15日

11月・・・12日

12月・・・3日、10日

* 2017年

1月・・・21日

2月・・・4日、18日

3月・・・4日



ゴルフプログラム

*2 活動予定

* 2016年

5月・・・15日

6月・・・5日、19日

7月・・・3日、17日

(場所:サンゴルフ松園)

8月・・・7日

9月・・・3日、17日

(場所:南部富士CCまたは

めもりパーク)



連絡先:

090-2609-6549(高橋)

◎2016年度SON・岩手 プログラム活動予定と募集について

水泳	水泳	水泳	陸上	バスケット	ボウリング	ゴルフ
大船渡市 Y・Sセンター	盛岡市立 総合プール	ふれあい ランド岩手	ふれあいラ ンド岩手、他	大船渡市 福祉の里センタ	盛岡 スターレーン	サンゴルフ 松園、他
第2、4 水曜日	2016年詳細 日程上記*1	第1、3 日曜日	4月～10月 日曜不定期	第2、4 日曜日	第1、3 日曜日	2016年詳細 日程上記*2
18:30～19:30	16:30～17:30	A13:00～14:30 B14:30～16:00	10:00～12:00	13:00～15:00	10:00～12:00	10:00～12:00

* スポーツコーチ・ボランティアとしてアスリートとスポーツを楽しんで頂ける方を随時募集しています。スポーツの苦手な方でもアスリートのお世話や必要な補助をしてくれる方大歓迎です。(問い合わせ: SON・岩手事務局)

* スペシャルオリンピックス日本・岩手をご支援頂いている皆様(H27年1月～H28年4月受付分) *

**北翔会、岩館電気(株)、岩手トヨペット(株)、
オーエム通商(株)、(株)高光建設、吉田等明様**

**東北住建(株)、(株)中原商店、富士ゼロックス岩手(株)、
いわて生活協同組合、(株)岩手朝日テレビ、(有)村山畳店**

(有)渥美工務店、(株)泉商店、(株)遠忠、(株)キムラ、ソロプチミスト、(株)高建重機、
高橋秀明様、(株)たぐちメディカル、東北電力(株)岩手支店、パイロットクラブ、
平野昇・裕子様、みちのくコカコーラボトリング(株)、盛岡ガス(株)、盛岡ゾンタクラブ、
吉村智恵・彰悟様、菱和建设(株)、盛岡ターミナルビル(株)、八幡自動車(株)、和田孝仁税理士事務所、
鍋由喜子様、(株)岩手日報社、(株)岩手めんこいテレビ、(株)クリエイト、東北電力労組岩手県本部

岡村房子様、鎌田哲彌様、小林一様、畑中俊彦様、辻裕子様、村井研一郎様、東島末起様、武内浩子様、
鈴木隆一・礼子様、米澤利次様、大鹿糠富士子様、川上昌子様、鈴木武夫様、野田武則様、富塚ツヤ子様、
高橋淑子様、高橋史枝様、白澤史佳様、四戸佳子様、佐藤正美・由美子・香様、長葭千恵子様 (順不同)

皆様との出会いに心から感謝いたします。心温まるご支援、
ご協賛を賜りました団体及び個人の皆様には厚く御礼申し
上げます。これからも何卒よろしくお願い致します。

* 問い合わせ先 *

〒020-0885

岩手県盛岡市紺屋町4-24

Tel/Fax: 019-613-5277

E-mail: son_iwate@son.or.jp

月・水・金曜日 10:00～15:00 在局
スペシャルオリンピックス日本・岩手 事務局

* ニュースレターの印刷は富士ゼロックス岩手(株)のご協力を頂きました。